

こんにちは！ 農業普及所です！



第134号

県中農林事務所須賀川農業普及所
住所 須賀川市花岡34の2
TEL 0248-75-2180
75-2181
FAX 0248-72-8331
E-mail sukagawa.af02@pref.fukushima.lg.jp



良い生育は土作りから！土作りは土壌分析から！

園芸品目土作り研修会を開催しました



講演する後藤逸男氏

令和6年12月11日(水)に須賀川市文化センターで、須賀川・石川地区の園芸品目生産者等を対象に、「園芸品目土作り研修会」を開催しました。

研修会では、東京農業大学名誉教授の後藤逸男氏にお越しいただき、「園芸のための健康な土づくり」と題して、土壌診断結果を生かした土づくりとともに、塩類集積や土壌病害が発生しにくく、作物の安定生産が可能な土づくりについて御講演いただきました。当日は、生産者・関係機関など約100名が参加し、質問時間には積極的に手が挙がっていました。

以前より管内では、きゅうりの連作による塩類集積や土壌病害が問題になっており、また、化学肥料原料の価格が大幅に上昇しています。栽培終了後に土壌分析を行い、分析結果に基づく適正施肥を行いましょう。

～研修会の主な質問内容～

- Q1：きゅうり栽培をしているが、ホモプシス根腐病が発生した際に太陽熱消毒を行っていたものの、最近ネコブセンチュウによる被害が大きくなってきている。対策はあるか。
- A1：薬剤による対策が対抗植物であるクロタラリア、ギニアグラスを播種し、その後すき込むことで、密度を下げるができる。作付け期間が長いことが課題だが効果はある。また、輪作することも考えてほしい。
- Q2：馬糞堆肥を入れているのだが、これに窒素肥料を加えても良いのか。
- A2：馬糞はカリウムが多い堆肥。熟度にもよるため堆肥の窒素成分を確認してから加えるように。
- Q3：トルコギキョウを栽培しているが、フザリウム立枯病が発生している。どのように土作りをすれば良いか。
- A3：立枯病はホモプシス根腐病と同様にリン酸過剰によって発生が助長される。リン酸が過剰にならないように土作りを。

通い農業支援システムの導入について



完成したシステム



組み立て作業中の生産者

果樹栽培における春先の凍霜害や夏季の干ばつ等の対策として、令和6年度に管内5カ所へ「通い農業支援システム」を導入しました。

「通い農業支援システム」は、生産者が安価に製作でき、スマートフォンでどこからでも温湿度・土壌水分といった圃地状況を確認できるIoT技術です。今年度は開発者の1人である東北農業研究センターの山下氏を講師としてワークショップを開催し、システムについての概要と作り方を指導していただきました。各生産者が製作したシステムはそれぞれの圃地に導入され、3月頃からの凍霜害対策等に役立てられる予定です。今後も管内のシステムの導入・利用を推進していきます。

県中地方就農相談会「ふくしま農業人フェアin郡山」を開催しました

就農を目指す方・農業に興味がある方などが、より具体的に就職・転職の選択肢として農業を考えられるよう、県中地方就農相談会を12月1日にビックパレットふくしま（郡山市）で開催しました。当日は県内の農業法人、市町村・団体、研修機関、支援団体など40ブースが出展し、145名の来場者が各ブースを回りながら熱心に相談されていました。須賀川農業普及所では、就農を希望される方のご相談を随時受け付けておりますので、お気軽にご相談ください！



当日の会場の様子



農業機械の展示

古殿町大豆品種比較展示ほ場について

令和6年6月より古殿町に大豆品種「里のほほえみ」栽培実証ほ場を設置し、現栽培品種「タチナガハ」と比較することで、現地適応性を確認してきました。「里のほほえみ」を推進するにあたり、10月28日に現地研修会を行い、古殿町の大豆生産者に「里のほほえみ」と「タチナガハ」の品種の違い



違いを確認する生産者ら

を確認してもらいました。参加した生産者には「里のほほえみ」に興味を持ってもらうことができ、実りある研修会となりました。11月14日に収穫作業が行われ、収穫時点で「里のほほえみ」の収量が「タチナガハ」よりも多い見込みであることから「里のほほえみ」の普及が期待されます。今後、収量・品質、大豆ミートへの加工等の試験結果についてまとめ、普及推進に活用していく予定です。

鳥獣被害防止対策モデル集落を設置しています！

令和6年度より、古殿町田口松森集落に鳥獣被害防止対策モデル集落を設置しました。

鳥獣被害防止対策モデル集落は、被害低減に不可欠な生息環境管理、被害防除、有害捕獲の各種対策の総合的な取組みを促進するため、モデル集落での取組効果を実証し、周辺地域に波及させることを目的に設置しています。

普及所では集落において、基本的な被害防止対策の研修会を開催するとともに、継続可能な被害防止対策活動の情報提供を行うなど、農作物等の被害軽減に向けた対策を支援しています。



集落環境診断

松森集落はこれまでに、専門家を招いて野生鳥獣の基本的な生態を学ぶ勉強会の開催や、集落の被害状況を把握するため集落環境診断をおこないました。

来年度から本格的な被害防止対策を実施するため、現在は集落住民を中心に準備を進めています。



須賀川・石川地方「ゆうやけベリー」栽培研修会を開催！

令和6年11月28日(木)に県農業共済組合県南支所会議室で、いちごの生産者等を対象に、「ゆうやけベリー」栽培研修会を開催しました。

県農業総合センター野菜科成田副主任研究員による栽培のポイント、3名の生産者の事例発表(JAふくしま未来福島地区いちご専門部会部会長 高橋正到氏、JAふくしま未来伊達地区本部いちご専門部会部会長 須田紀之氏、合同会社おざわ農園代表社員 小沢充博氏)、有限会社



パネルディスカッションの様子

横田農園での現地研修を行いました。

生産者・関係機関など50名程度が参加し、生産現場で課題になっていることや、販売事例などの情報を共有することができました。「「ゆうやけベリー」と他の品種との違いが分かりやすかった」「生産者により様々な考え方があり、とても勉強になった」「県を代表する品種になって欲しい」などの感想がありました。



販売店情報など掲載しています！

<https://yuyakeberry-fukushima.jp>

福島県農林水産部の公式YouTubeチャンネルをご存じですか？

県農林水産部では令和4年度から、県農林水産物や農山漁村の魅力などを伝えていく取組をスタートしました！

「福島ならではの」の農林水産物の魅力を美しい映像でお伝えしています。

きゅうり、いちごは須賀川を舞台に作成されました！



←公式
YouTube
「ふくしま
旬物語」



↑公式
YouTube
「1400の
ネタばらし」



農林水産部職員が、日頃の業務の中で「ネタばらししたい！」ものを、動画で紹介しています。須賀川農業普及所作成の動画もあります！

ぜひ探してみてください！

須賀川4Hクラブ会員募集中！

「須賀川4Hクラブ」とは、若手農業者を中心に、農業経営をしていくうえでの課題の解決方法を検討する活動や、地域との交流活動を行う組織です。

毎月1回の定例会や栽培技術等の勉強会の開催、会員の農場訪問などにも取り組んでいます。

令和6年度はイベントでの直売や県外への視察研修を実施しました。

現在、須賀川4Hクラブではこれらの活動を共に取り組む仲間を大募集中です。興味のある方は須賀川農業普及所までお気軽にお声がけください。

※『4H』…4つの信条 (Hands・Head・Heart・Health)



R6 農業総合センターまつりでの直売

出荷制限品目について

令和6年12月20日現在、須賀川市・岩瀬郡・石川郡の農林産物のうち、出荷が制限されている品目は下表のとおりです。出荷制限品目は、自主検査等で基準値（100Bq/kg）以下であっても出荷・販売できません。無償での譲渡や、加工食品の原料として使用することもできませんのでご注意ください。

| 出荷制限品目 | 該 当 市 町 村 |
|----------|----------------------------------|
| 野生きのこ | 須賀川市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町 |
| こしあぶら | 須賀川市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町 |
| たらめ (野生) | 須賀川市、鏡石町、古殿町 |
| うど (野生) | 須賀川市 |
| たけのこ | 須賀川市、天栄村 |
| ぜんまい | 須賀川市 |